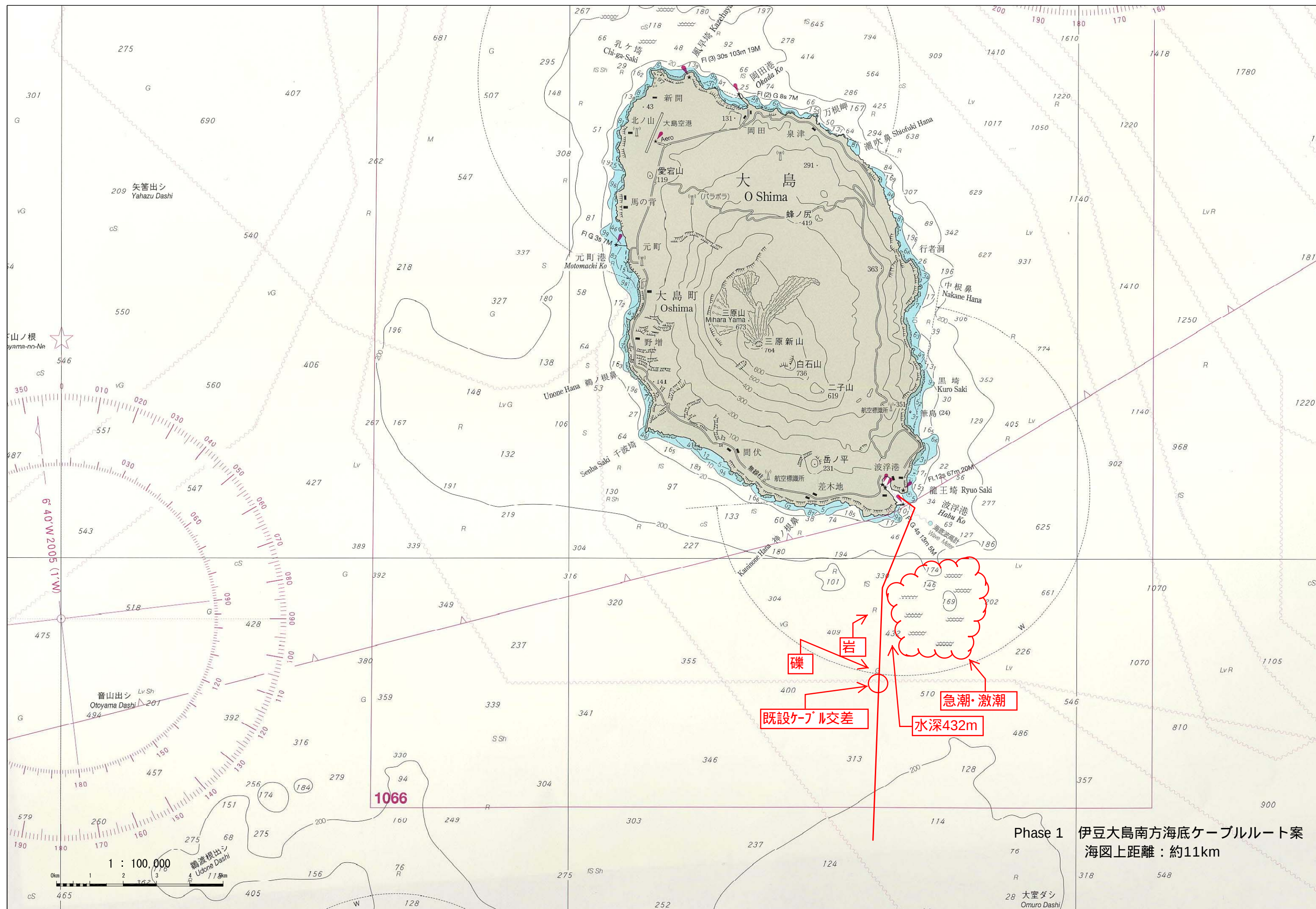


波力発電の実海域実証試験とモデル発電事業に向けて

伊豆諸島(大島沖合)の選定のポイント及び課題・解決方法

評価項目		選定のポイント	課題	解決方法
自然環境	海象 波況	大きな波パワーが期待できる	具体的な設置位置が未定 設置申請に必要な情報	海象・波況の詳細解析を実施予定(2010年度) 海底調査等を実施予定(2011年度)
	海底 地形	伊豆大島近海に大室ダシ、千波埼 沖合等の有望な海域が広がる。	深い海での実用的係留方法が未定(検討中)	100m前後の深度の係留技術について実証研究予定(2010年度)
産業基盤		伊豆大島は人口1万人弱であり、建設・運用に必要な産業基盤やサービス施設が存在する	地域振興との関係	2010年度にラウンドテーブルを設置し、基本的枠組みを検討： ・東京都(環境局、産業労働局) ・大島町 ・関係省庁 ・東京都漁業調整委員会 ・東京大学 ・(東京電力) ・OEAJ 事務局：未定
漁業関係		波力発電の魚集効果などにより、漁業との協力が図れる	地元関係者と未調整 沖合利用の関係未調整	
発電関係		小規模な電力は伊豆大島で消費できる。大電力消費地に近く、将来性がある。	国の支援策が未定 海底ケーブル等インフラ整備 設置申請に係る取り扱い	
海上交通関係		(航路にあたる)	周知徹底方法 許認可	
実証試験フィールドの運営体制		東京に近い	フィールド運営主体が未定	



Phase 1 伊豆大島南方海底ケーブルルート案
海図上距離：約11km

海 図（海図図式）の 例

